

熊本県内経済情勢報告

令和8年4月

財務省九州財務局



九州財務局に関する情報はこちら！！



ホームページ



X(旧Twitter)



Facebook

(問い合わせ先)

財務省九州財務局経済調査課

TEL 096-353-6351 (代表)

ホームページアドレス

<https://lfb.mof.go.jp/kyusyu/>

1. 総論

【総括判断】「県内経済は、緩やかに回復している」

項目	前回（8年1月判断）	今回（8年4月判断）	前回比較
総括判断	緩やかに回復している	緩やかに回復している	→

（注）8年4月判断は、前回8年1月判断以降、足下の状況までを含めた期間で判断している。

（判断の要点）

個人消費は、緩やかに回復している。生産活動は、持ち直している。雇用情勢は、持ち直しの動きに一服感がみられる。

【各項目の判断】

項目	前回（8年1月判断）	今回（8年4月判断）	前回比較
個人消費	緩やかに回復している	緩やかに回復している	→
生産活動	緩やかに持ち直している	持ち直している	↗
雇用情勢	持ち直しの動きに一服感がみられる	持ち直しの動きに一服感がみられる	→
設備投資	7年度は減少見込み	7年度は減少見込み	→
企業収益	7年度は減益見込み	7年度は減益見込み	→
住宅建設	横ばいの状況にある	横ばいの状況にある	→

【先行き】

先行きについては、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、回復していくことが期待される。ただし、中東情勢、物価動向、金融資本市場の変動等の影響を注視する必要がある。

2. 各論

■ 個人消費 「緩やかに回復している」

百貨店・スーパー販売は、緩やかに回復している。コンビニエンスストア販売は、緩やかに持ち直している。ドラッグストア販売は、緩やかに持ち直している。ホームセンター販売は、弱含んでいる。家電大型専門店販売は、持ち直しつつある。乗用車の新車販売は、持ち直している。宿泊は、緩やかに回復している。

(主なヒアリング結果)

- 中国客減少の影響で免税売上高は減少しているものの、食料品や工芸品などの催事は好調である。(百貨店・スーパー)
- 鮮魚は売れ筋商品が相場高で苦戦するなか、刺身や味付切り身の種類拡充などの工夫を行ったことで前年を上回っている。(百貨店・スーパー)
- 幅広い客層が来店し、売上高は前年を上回って推移している。身の回り品が好調であり、靴やバッグ、メガネ、アクセサリ等が売れている。(大型商業施設)
- 販売促進施策の効果により、売上高は前年を上回って推移している。(コンビニエンスストア)
- 食品の上げは、価格を抑えた商品展開とチラシ広告が奏功し、前年を上回っている。(ドラッグストア)
- 衣料品や暖房器具など冬物商品の処分セールが伸び悩んだほか、米や野菜なども苦戦している。(ホームセンター)
- メモリ半導体不足を懸念したパソコンの駆け込み需要は、2月以降は落ち着きがみられたものの、エアコンの好調及び携帯電話の単価上昇により、上げはプラスで推移。エアコンの好調は3月以降も続く見込み。(家電大型専門店)
- メーカーによる受注制限が続いているが、消費者の自動車購入意欲は引き続き高く、受注は以前からの高水準を維持している。(自動車販売店)
- 1月の宿泊者数は、寒さによる国内客の外出控えや、春節の開始時期が昨年とは異なり2月となった影響などから前年割れとなった。2月以降は天候に恵まれたことから国内客が増えたほか、春節を利用したインバウンドが増えたことなどから、前年を上回っている。(宿泊業界団体)
- 台湾と韓国の個人客が引き続き好調。香港や中国の個人客も一定程度みられている。(宿泊施設)

■ 生産活動 「持ち直している」

汎用・生産用機械は、半導体製造装置を中心に増加している。食料品等は、横ばいの状況にある。電子部品・デバイスは、堅調である。化学は、横ばいの状況にある。

- AI半導体の需要増加を見越した半導体メーカーの設備投資が増加していることから、AI関連の半導体製造装置の受注が好調である。先行きは、生成AIからフィジカルAIへの進化の動きもあり、AI半導体の一層の需要増加が見込まれていることから、更なる受注増加が期待できる状況。(汎用・生産用機械)
- 素麺など夏物製品を中心とした生産に切り替わっているが、生産水準は例年並みとなる見込み。(食料品等)
- 民生用は中国メーカーとの価格競争が続いており厳しい状況にあるものの、電力用や鉄道用は需要が伸びており増産が続いている。(電子部品・デバイス)

■ 雇用情勢 「持ち直しの動きに一服感がみられる」

有効求人倍率は、横ばいとなっている。新規求人数は、前年を下回っているものの、半導体関連などで前年を上回っている。企業の人手不足感は、高い状況が続いている。

- 半導体関連の求人が増加しているものの、外国人労働者の受入れによる人員の充足などもみられる。なお、物価高の影響による高齢者などの求職増の傾向は継続している。(公的機関)
- 求人を行っても条件に見合った人材の応募がなく、また採用後の早期離職がみられることから、現在は従業員からの紹介による採用を行っている。(建設)
- 社員の自然減を補充するため特定技能制度を活用しているものの、より労働条件の良い事業所に人材が流れており、必要な人員数を確保する状況には至っていない。(食料品)
- 宴会の売上規模に対してホールスタッフが不足していることに加え、中途退職も発生している。(宿泊)

- 設備投資 「7年度は減少見込み」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」8年1-3月期
 - 製造業では減少見込み、非製造業では増加見込みとなっている。

- 企業収益 「7年度は減益見込み」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」8年1-3月期
 - 製造業、非製造業ともに減益見込みとなっている。

- 住宅建設 「横ばいの状況にある」
 - 新設住宅着工戸数(7年12月~8年2月)をみると、貸家は前年を上回っているものの、持家、分譲住宅は前年を下回っている。

- 企業の景況感 「現状判断は『下降』超」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」8年1-3月期
 - 8年1~3月期の景況判断BSIをみると、全産業では「下降」超となっている。
先行き(全産業)をみると、8年4~6月期は「上昇」超の見通しとなっている。

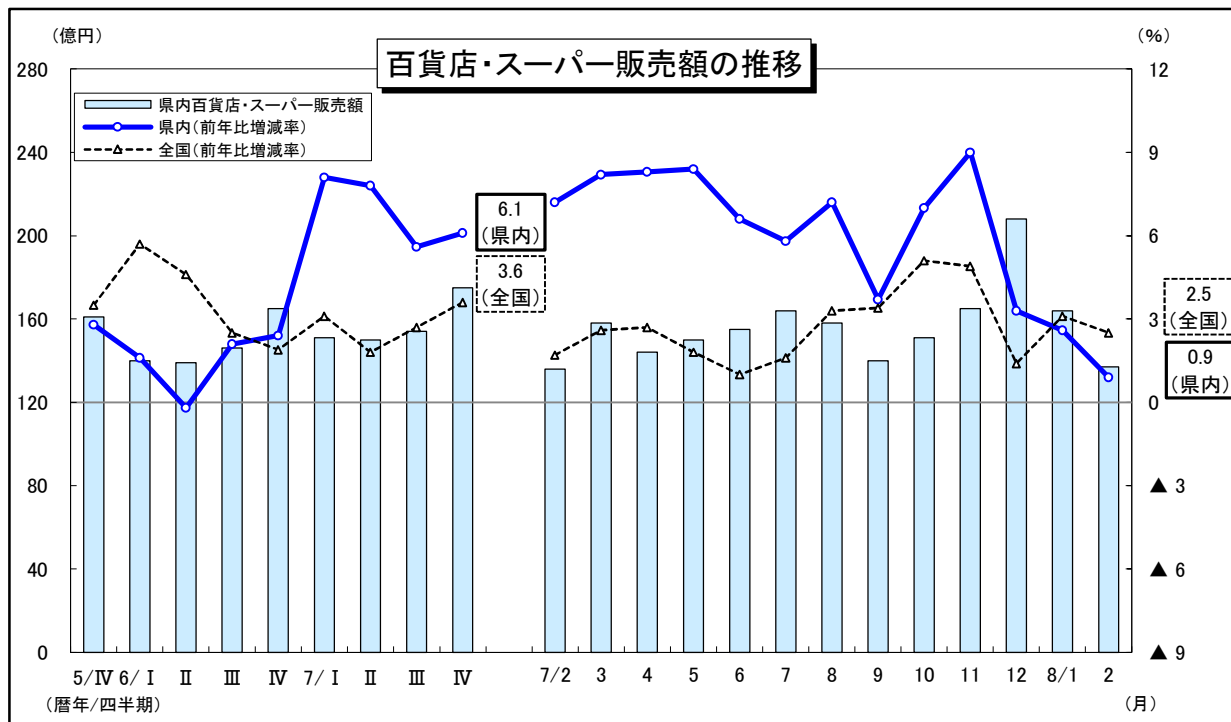
- 公共事業
 - 公共工事請負金額(7年4月~8年2月累計)をみると、前年度を上回っている。

- 倒産
 - 企業倒産(8年1~3月期)は、件数、負債総額ともに前年を下回っている。

【参 考 資 料】

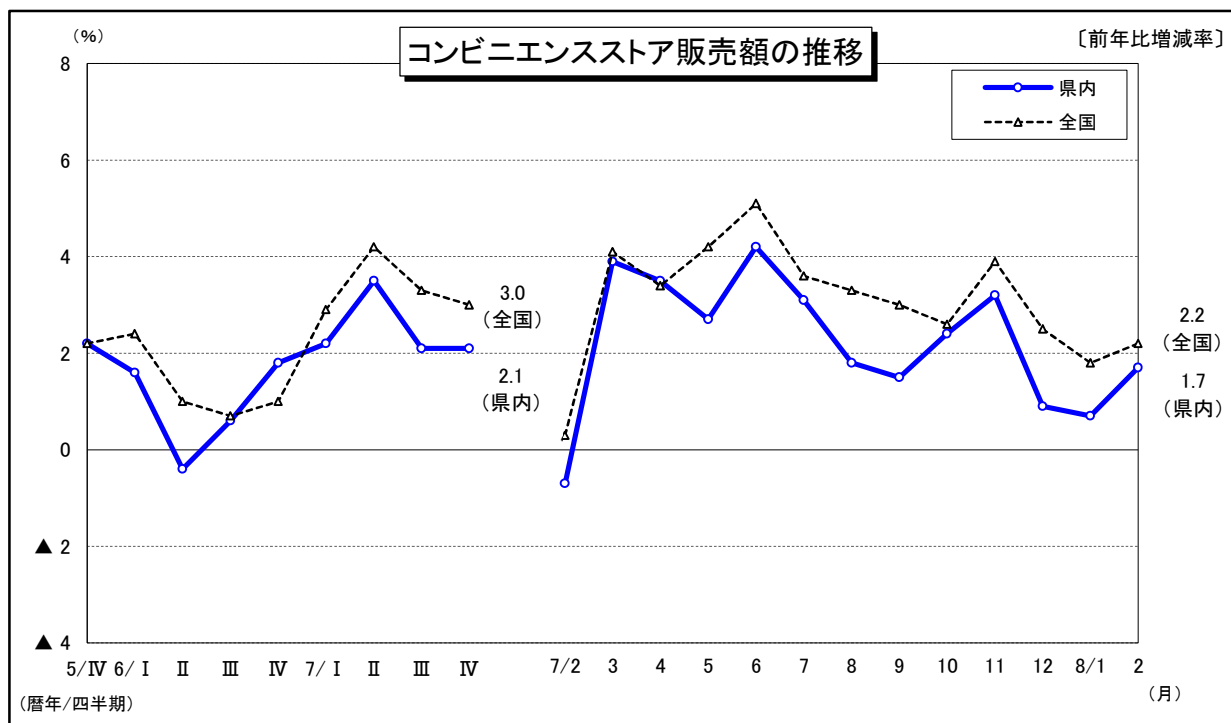
1. 個人消費	参-1
2. 生産活動	参-4
3. 雇用情勢	参-5
4. 設備投資	参-6
5. 企業収益	参-6
6. 住宅建設	参-7
7. 企業の景況感	参-8
8. 公共事業	参-9
9. 倒産	参-10

1. 個人消費



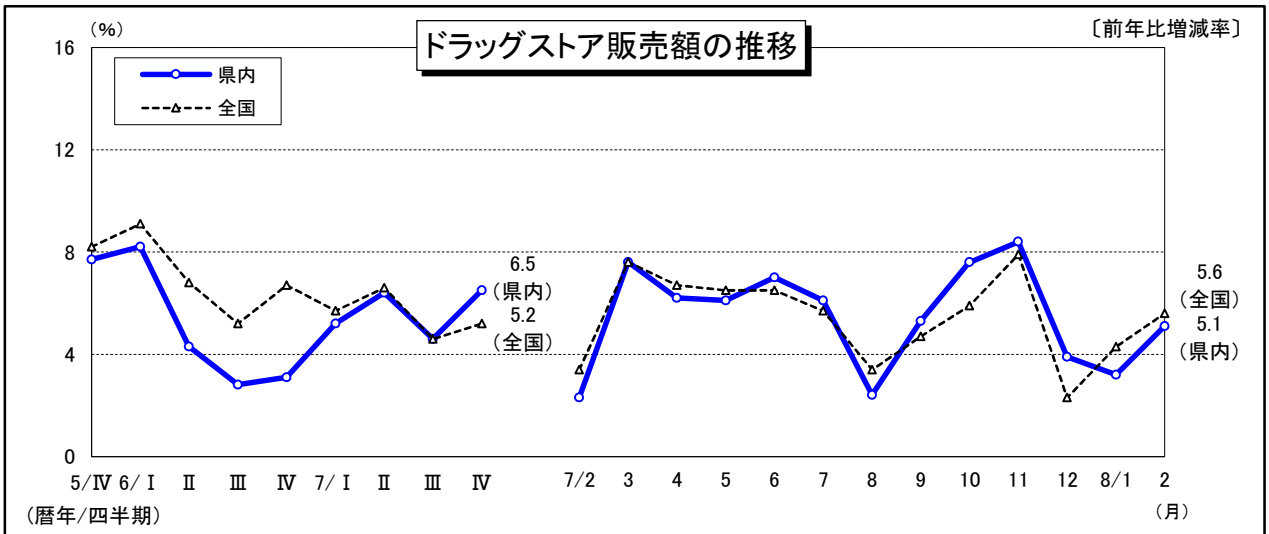
(注) 全店ベース。四半期の棒グラフは月平均。8年2月は速報値。

[資料: 経済産業省]



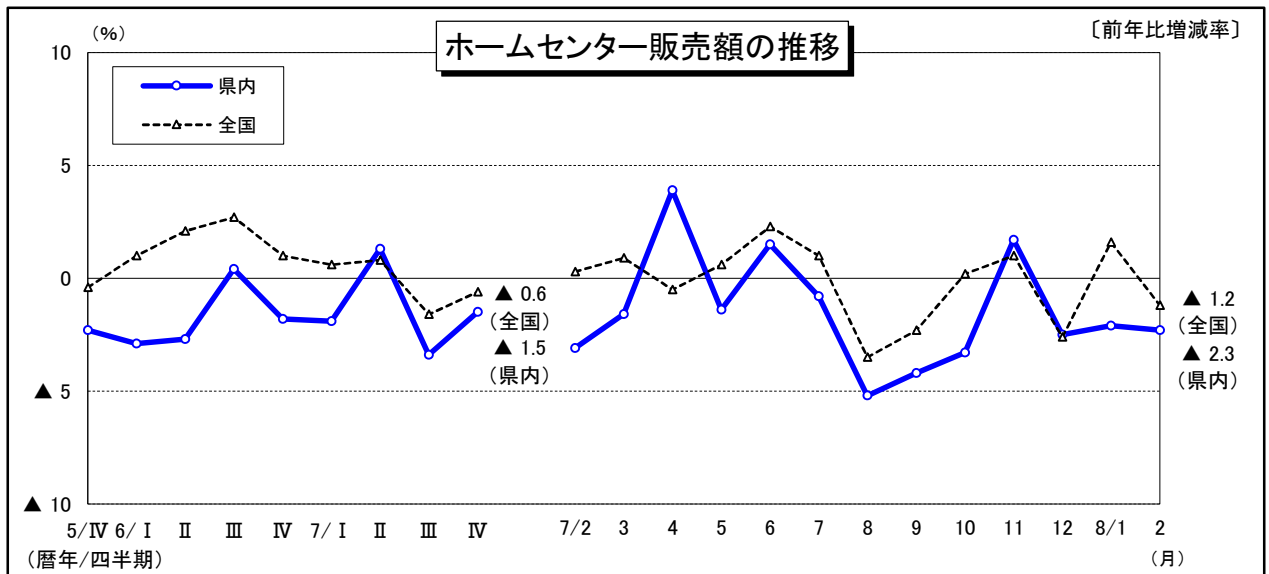
(注) 全店ベース。8年2月は速報値。

[資料: 経済産業省]



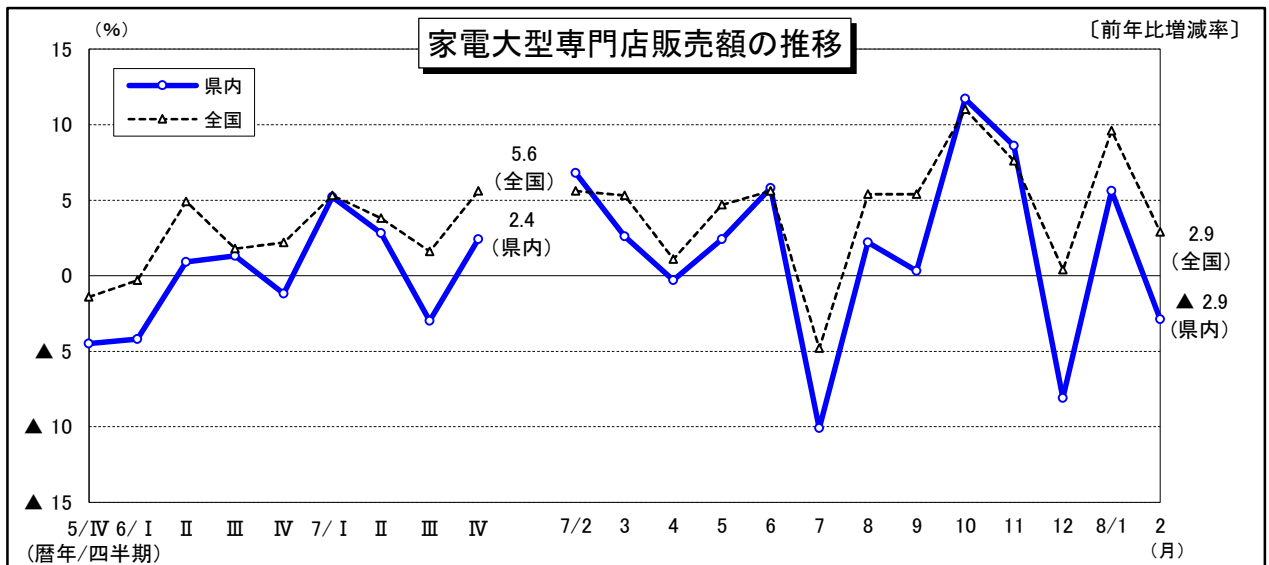
(注) 全店ベース。8年2月は速報値。

[資料: 経済産業省]



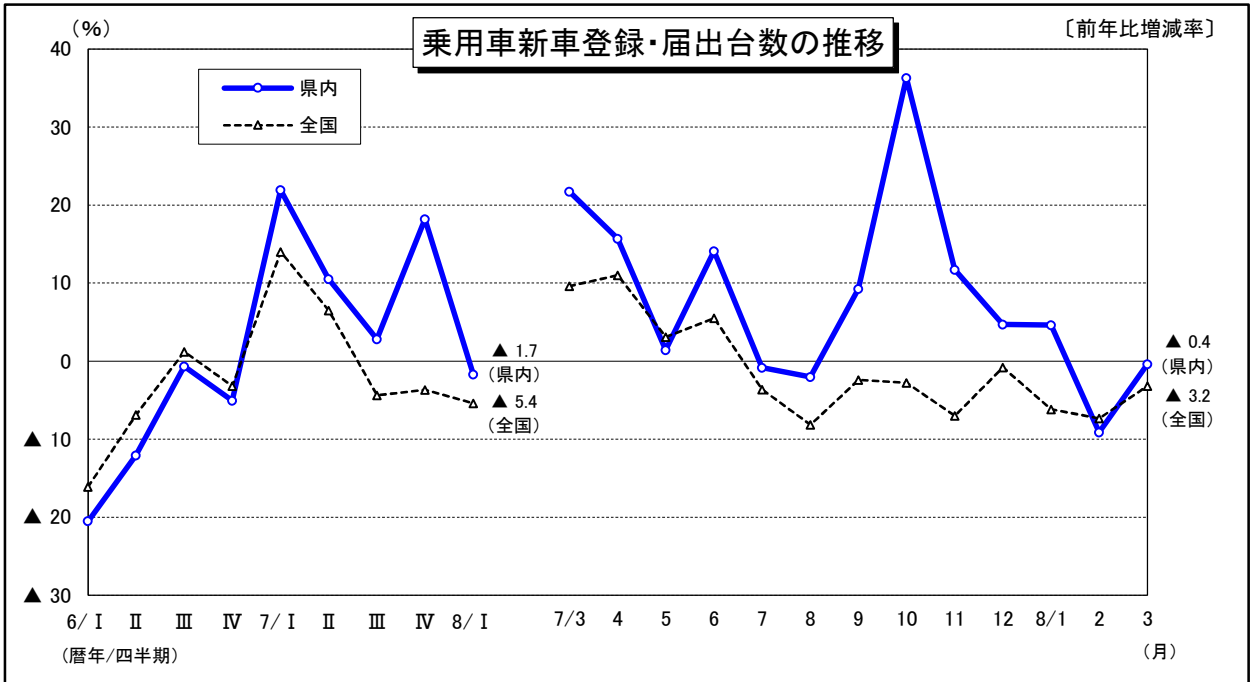
(注) 全店ベース。8年2月は速報値。

[資料: 経済産業省]



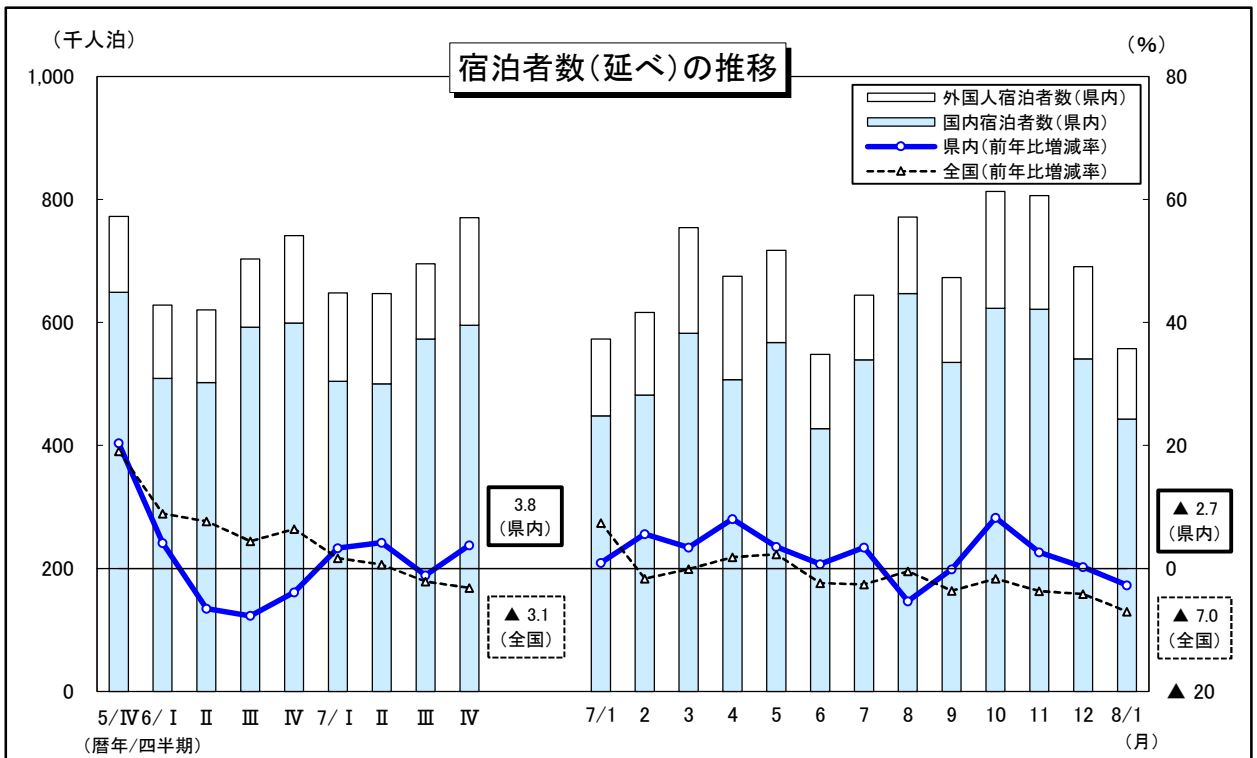
(注) 全店ベース。8年2月は速報値。

[資料: 経済産業省]



(注)8年3月は速報値。

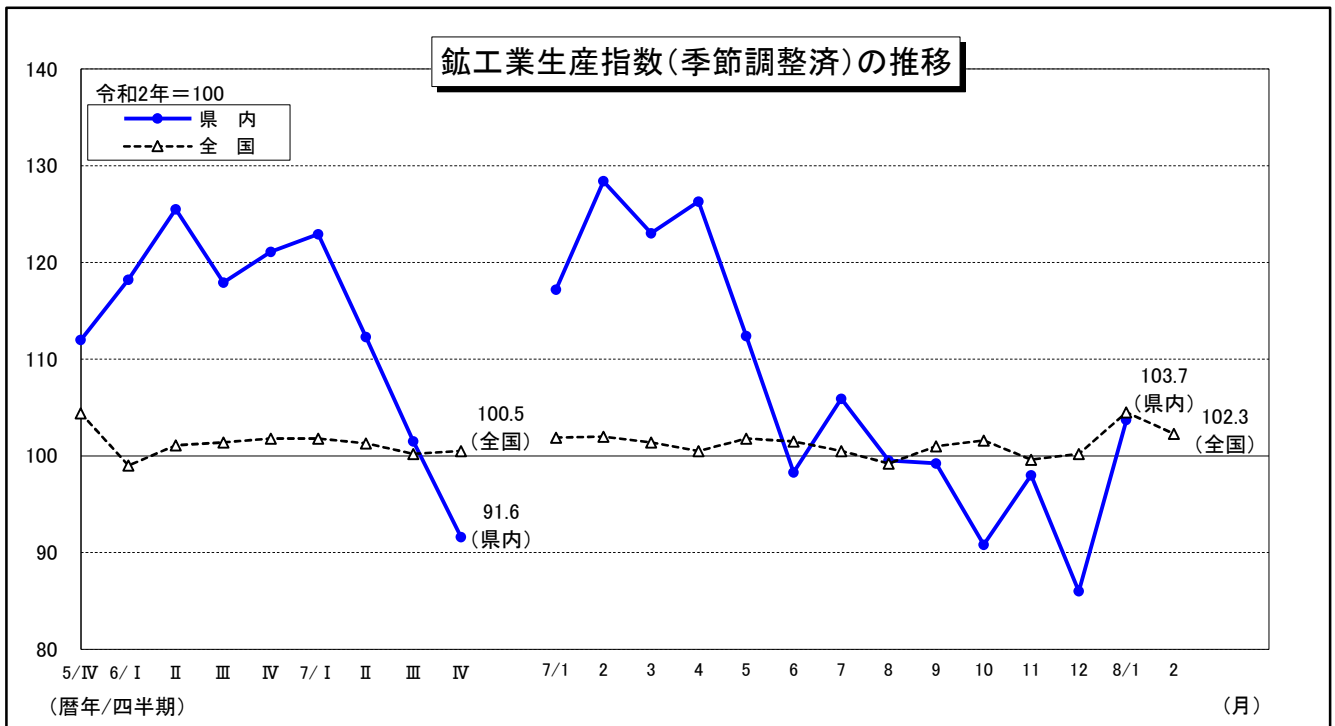
〔資料: 日本自動車販売協会連合会、熊本運輸支局及び全国軽自動車協会連合会〕



(注)四半期の棒グラフは月平均。

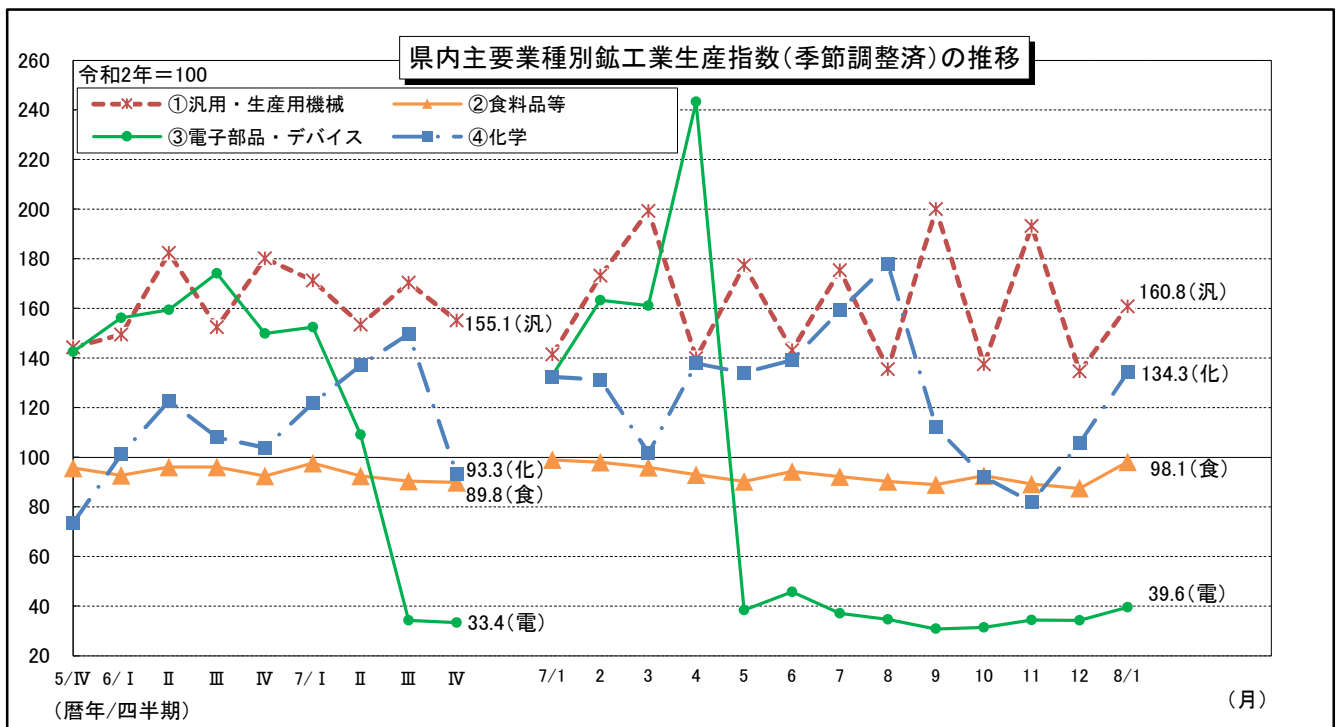
〔資料: 観光庁〕

2. 生産活動



(注) 全国の8年2月、県内の8年1月は速報値。

[資料: 経済産業省、熊本県]



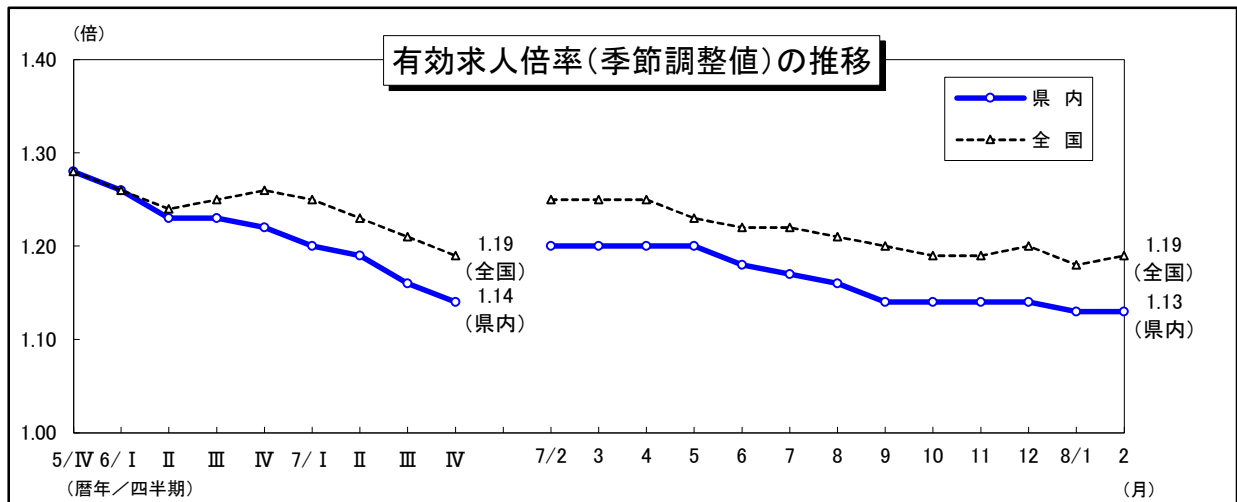
(注) 1. 8年1月は速報値。

2. ○数字は、県内におけるシェア順位。

3. 電子部品・デバイスについては、7年5月より一部事業所の報告方法が変更されている。

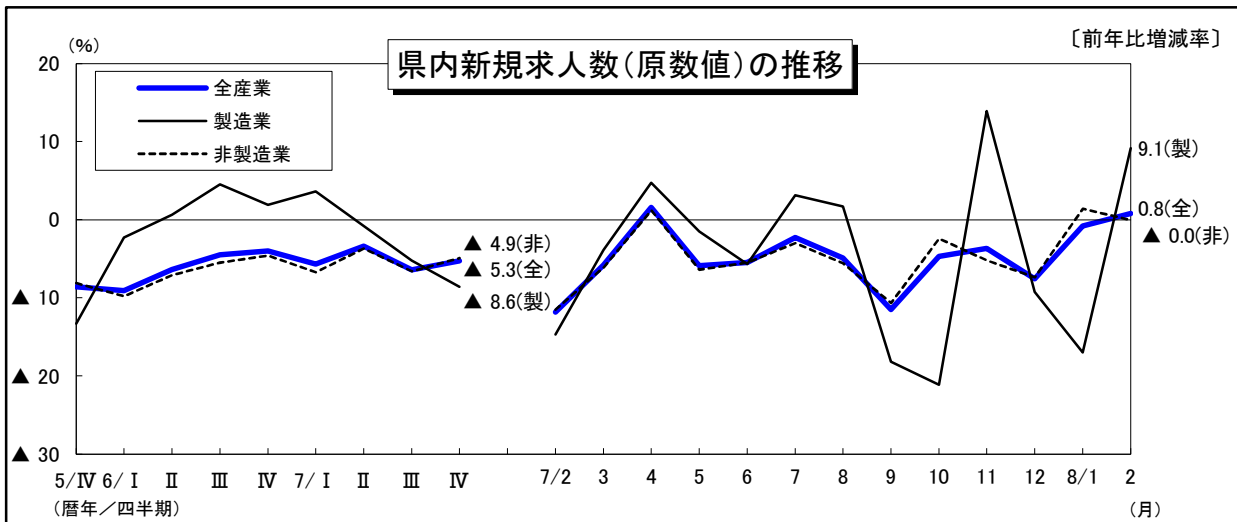
[資料: 熊本県]

3. 雇用情勢



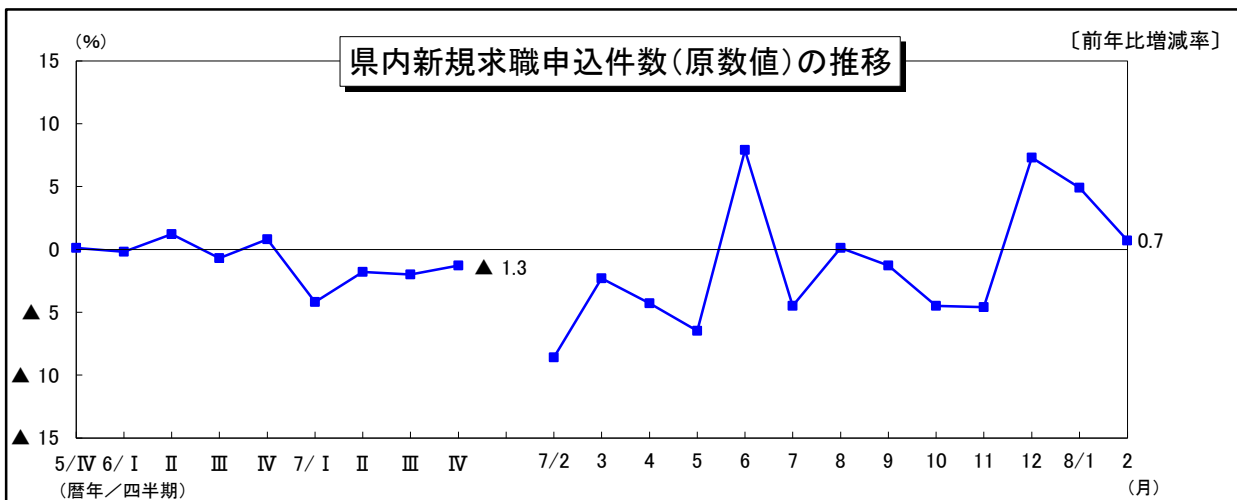
(注)パートを含む。

[資料:厚生労働省]



(注)パートを含む。

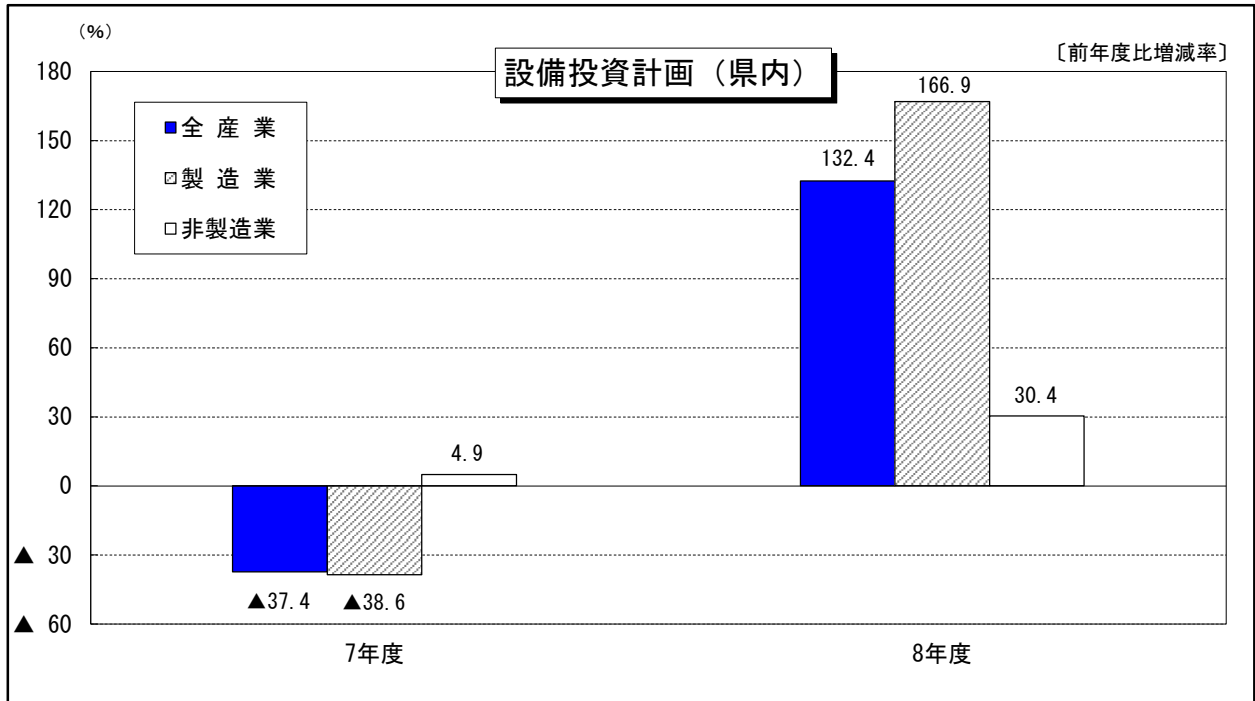
[資料:厚生労働省、熊本労働局]



(注)パートを含む。

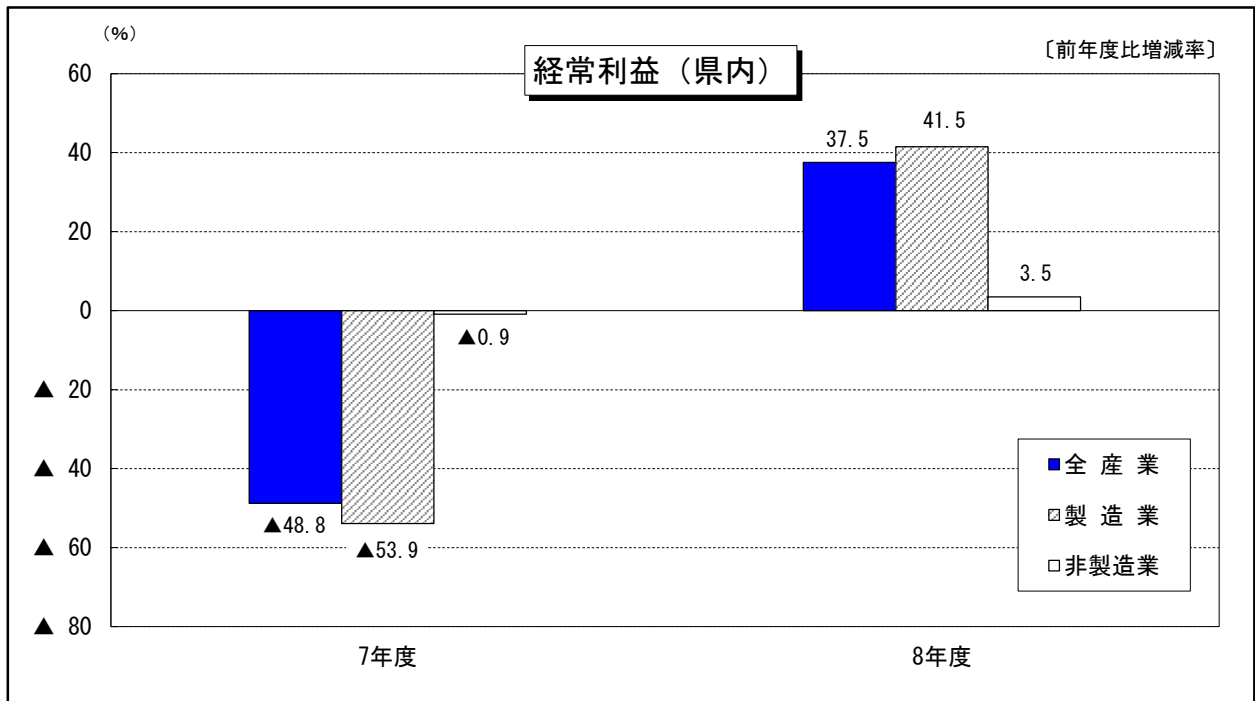
[資料:厚生労働省]

4. 設備投資



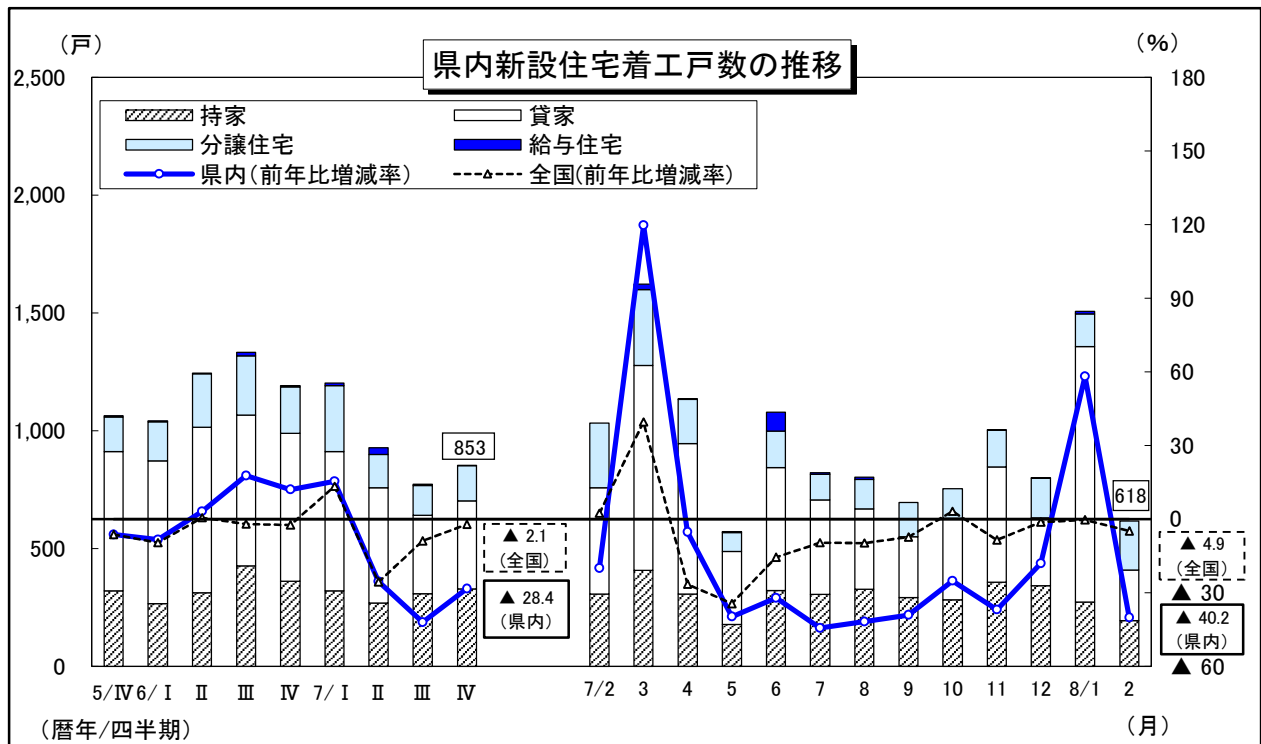
[資料:九州財務局(法人企業景気予測調査)]

5. 企業収益



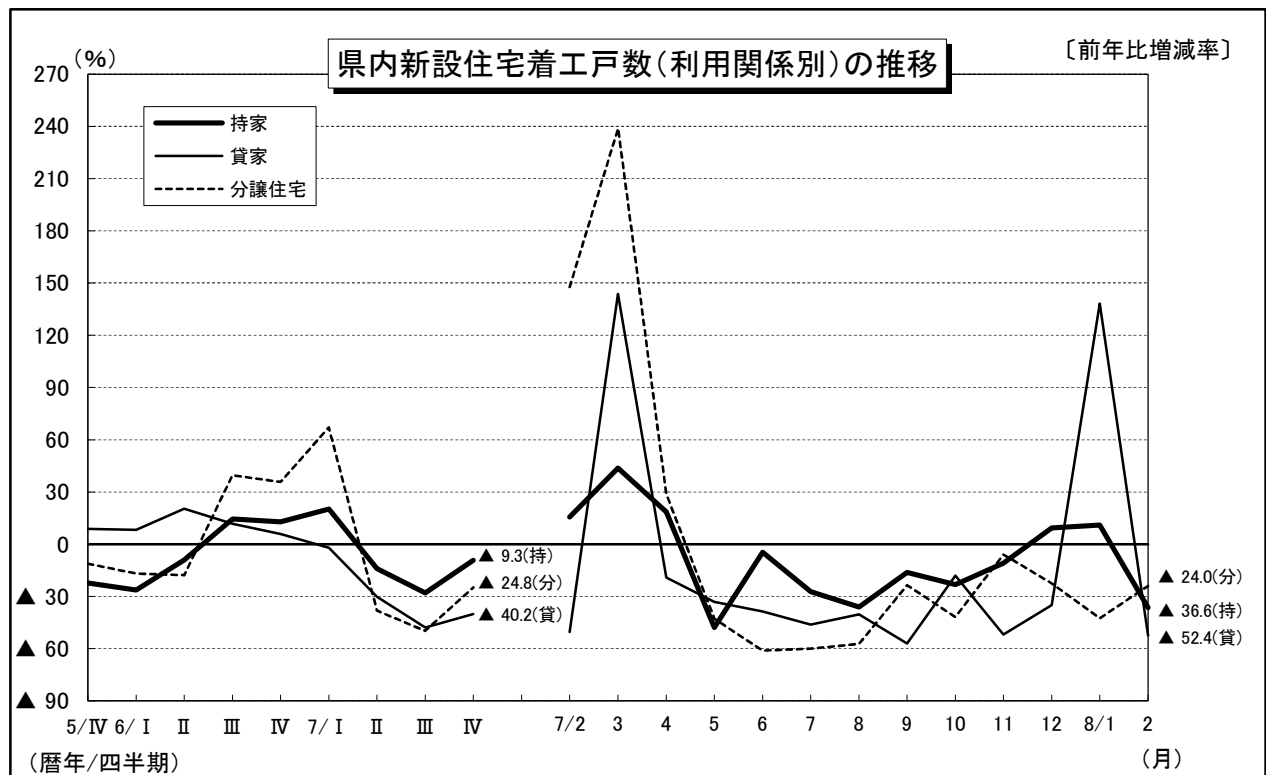
[資料:九州財務局(法人企業景気予測調査)]

6. 住宅建設



(注) 四半期の棒グラフは月平均。

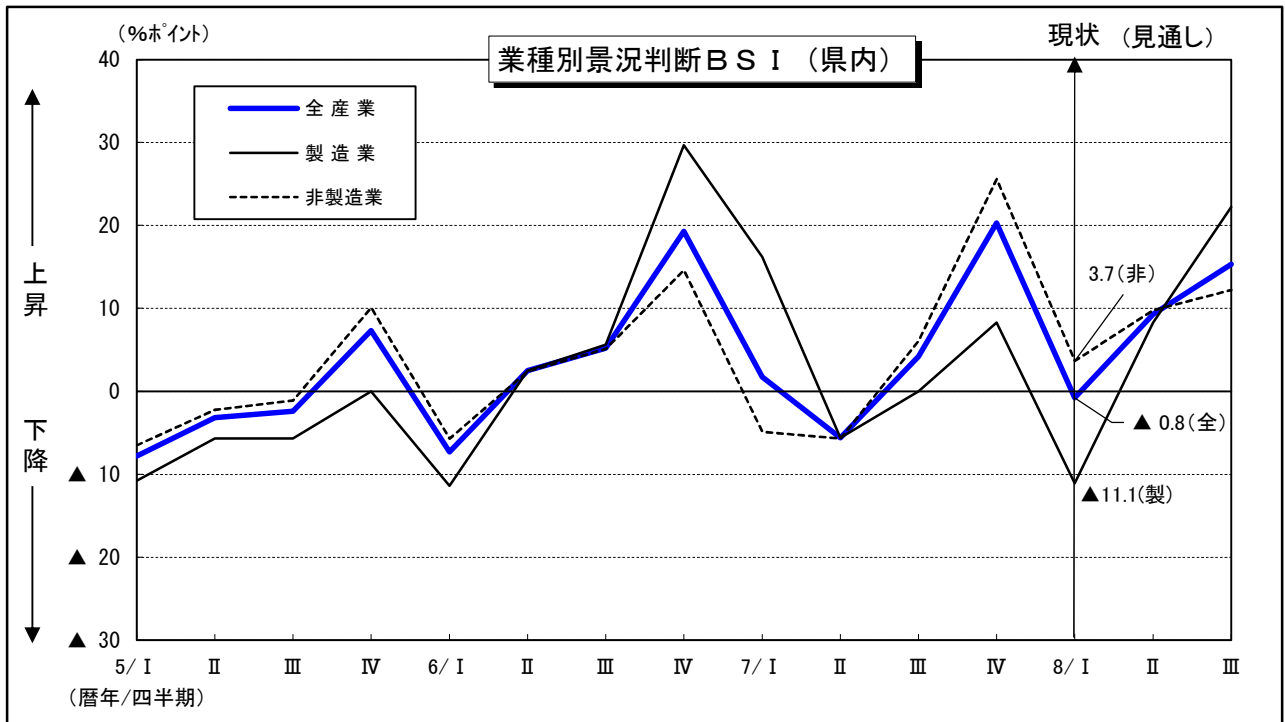
[資料: 国土交通省]



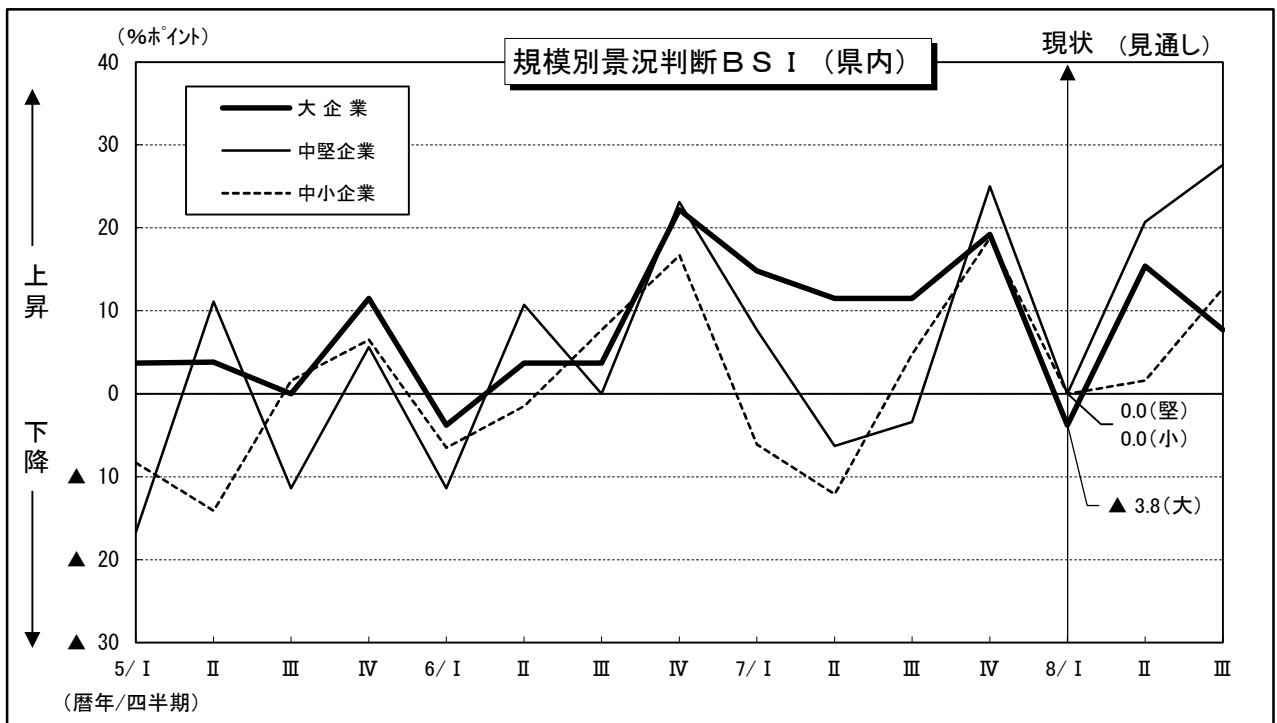
(注) 給与住宅については、些少であるため表記していない。

[資料: 国土交通省]

7. 企業の景況感

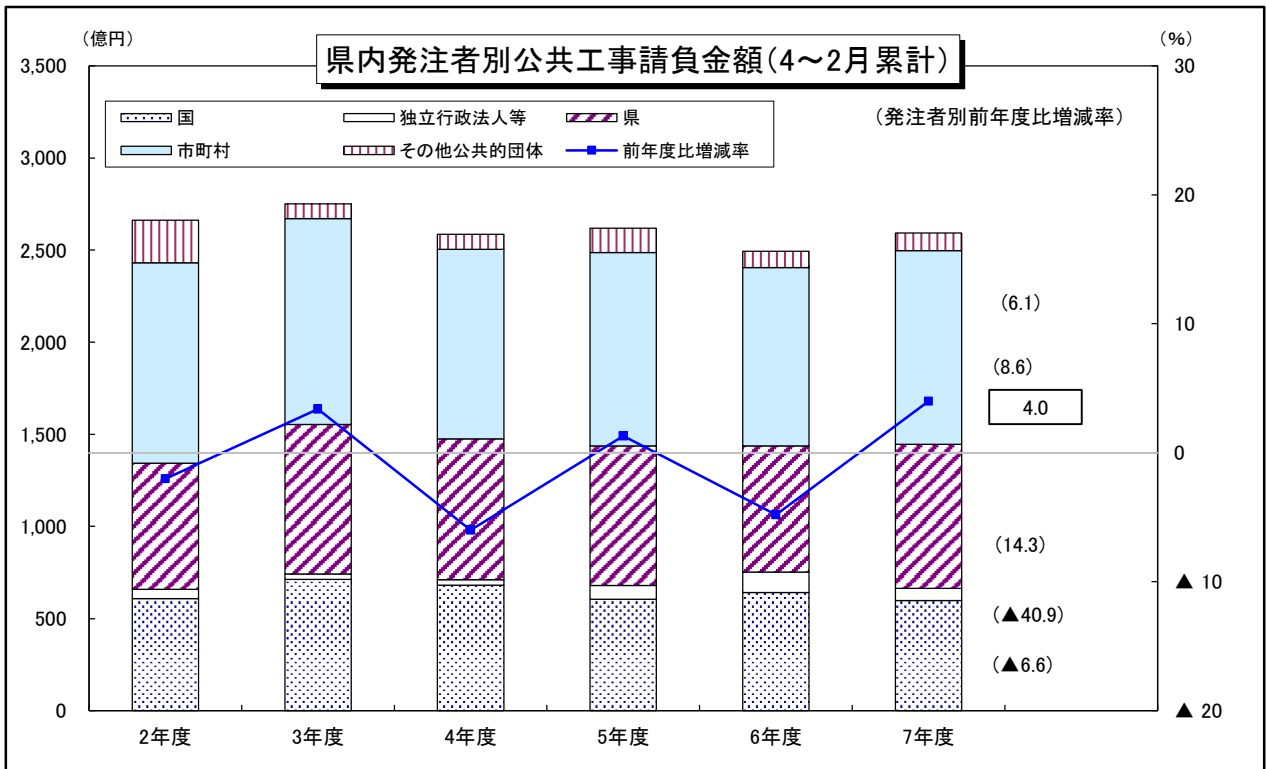


[資料:九州財務局(法人企業景気予測調査)]

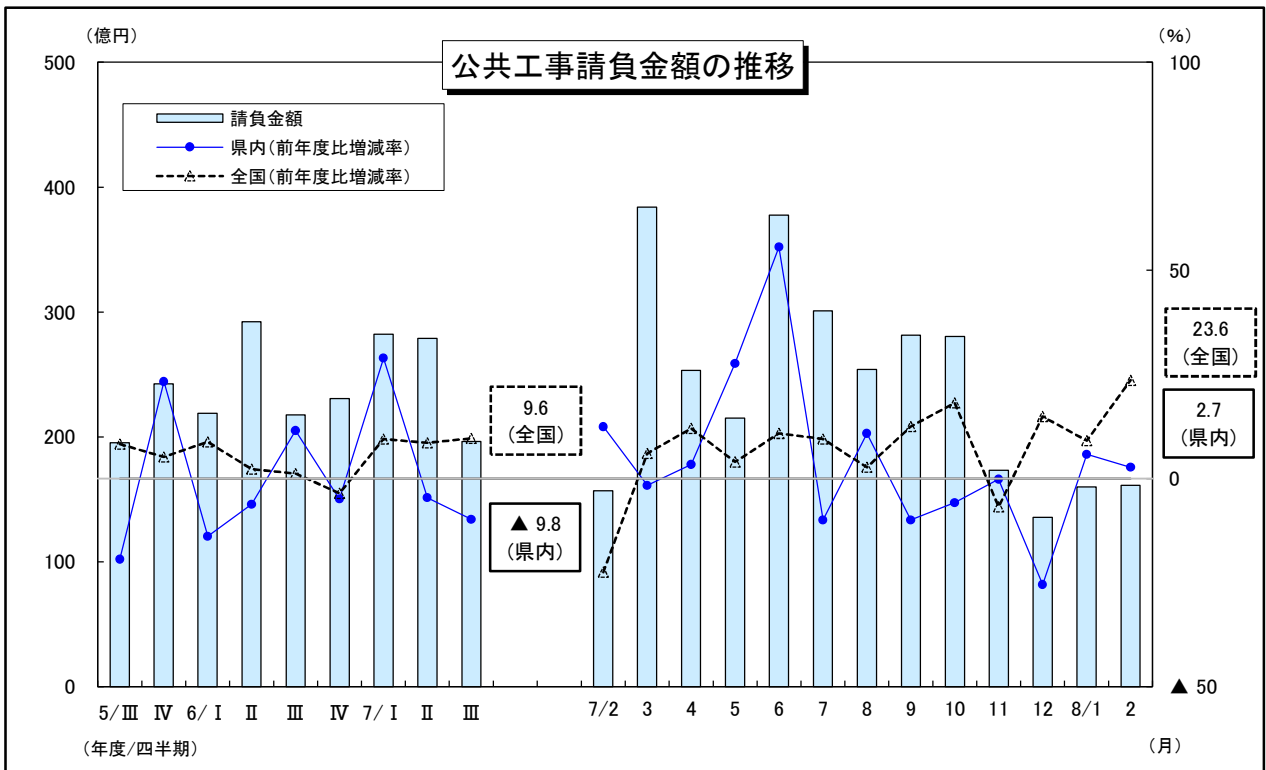


[資料:九州財務局(法人企業景気予測調査)]

8. 公共事業



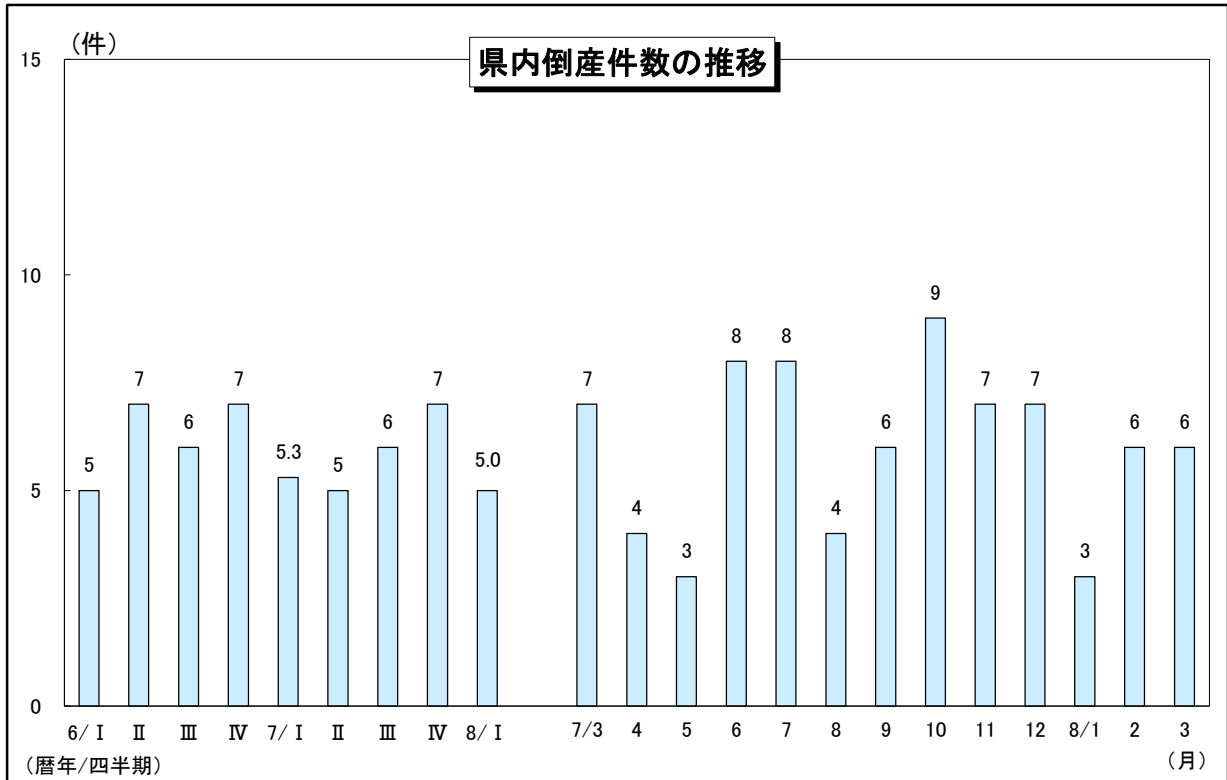
[資料: 北海道建設業信用保証(株)、東日本建設業保証(株)、西日本建設業保証(株)]



(注) 四半期の棒グラフは月平均。

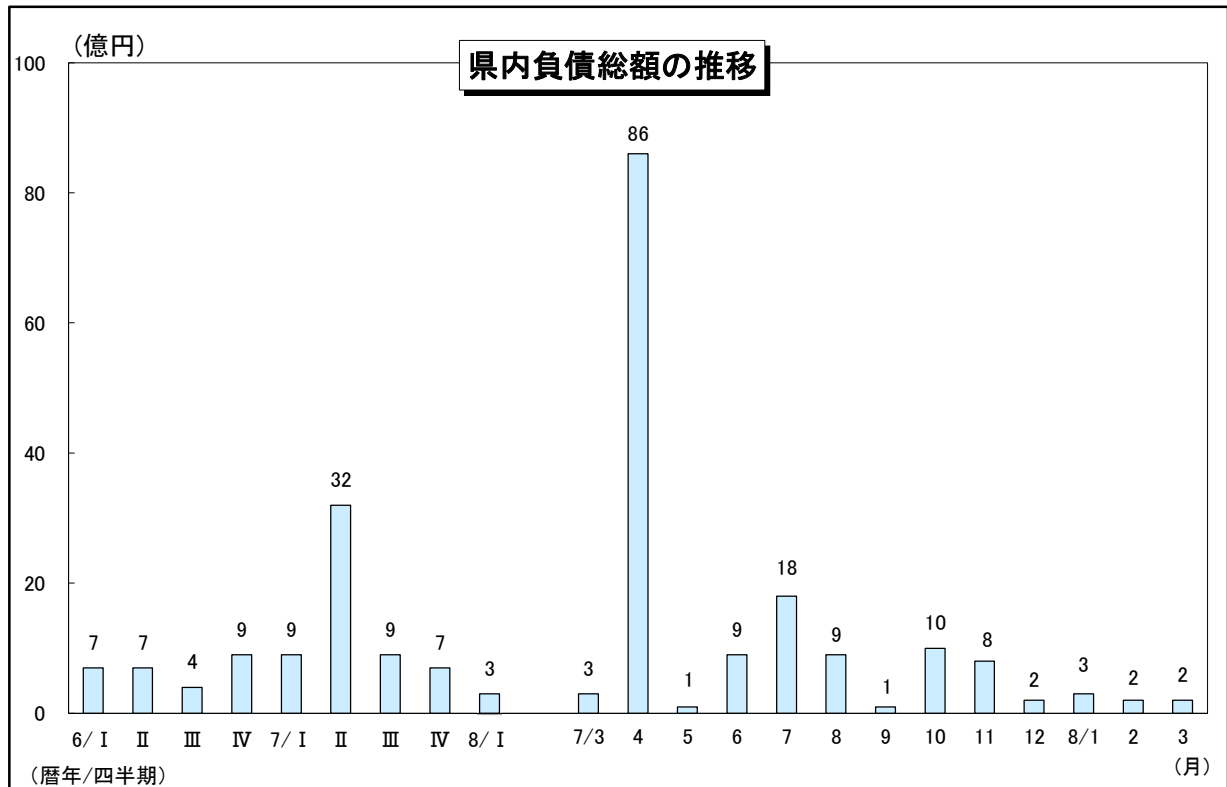
[資料: 北海道建設業信用保証(株)、東日本建設業保証(株)、西日本建設業保証(株)]

9. 倒産



(注) 四半期の棒グラフは月平均。

[資料: 東京商工リサーチ]



(注) 四半期の棒グラフは月平均。

[資料: 東京商工リサーチ]